

神奈川県立鶴見総合高等学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

| | |
|------|---|
| 会議名称 | 7年度 鶴見総合高等学校 第3回 学校運営協議会 |
| 開催日時 | 令和8年3月12日(木)15時00分～16時30分 |
| 開催場所 | 鶴見総合高等学校 会議室 |
| 出席者 | 学校運営協議会委員6名(欠席3名) |
| 会議資料 | (1)令和7年度神奈川県立鶴見総合高等学校 第3回学校運営協議会 次第 (2)令和8年度入学者選抜の結果 (3)令和7年度卒業生 進路状況 (4)令和7年度学校評価報告書(実施結果) (5)パナソニック教育財団 スクールフォトレポート (6)令和7年度 神奈川県立鶴見総合高等学校 学校運営協議会委員(名簿) |
| 議事録 | <p>(1)開会挨拶 会長より開会挨拶があり、今年度の学習発表会等を通して、生徒が主体的に活動に取り組んでいる様子や、学校全体が落ち着いた良好な雰囲気のもと教育活動を展開している点について高い評価が示された。また、本校が地域において果たす役割の重要性についても言及され、部活動や行事、地域連携等における多様な取組に対し敬意が表された。</p> <p>一方で、こうした教育活動の充実を支えている教職員の業務負担についても触れられ、持続可能な学校運営の観点から、働き方改革や健康管理の視点を踏まえた取組の必要性が示された。教育の質の維持・向上と教員の働きやすさの両立を図ることが、今後の重要な課題であるとの認識が共有された。</p> <p>(2)令和8年度入学者選抜の結果 入学者選抜委員会より報告が行われた。今年度の入学者選抜においては、在県外国人等特別募集の倍率が昨年度と比較して落ち着いた状況となった。募集全体としては大きな混乱もなく円滑に実施され、本校の教育内容や特色に対する一定の理解が地域に浸透していることがうかがえる結果となった。</p> <p>(3)令和7年度卒業生の進路状況 キャリア形成支援グループより、3月10日時点の進路状況について報告があった。今年度の特徴として、例年と比較して就職希望者が増加しており、従来約30名程度であった就職者数が、本年度は約50名程度となる見込みである点が挙げられた。</p> <p>職種別では、製造業等の技能職が最も多く、次いで事務職、販売職の順となっている。事務職についてはコロナ禍において一時的に減少したものの、近年回復傾向にあることが確認された。公務員分野では、東京消防庁への合格者1名、自衛隊(陸上・航空)への進路決定者2名が報告され、多様な進路実現が図られている。</p> <p>進学については、大学進学率が特別に上昇している状況は見られず、本校の特徴である専門学校志向の高さが今年度も継続している。生徒が自身の興味・関心に基づき専門的分野を志向する傾向が見られる点は、本校のキャリア教育の成果の一つと捉えられる。</p> <p>また、文系・理系の比率については例年通り文系が多い状況であるが、理系志望者の中では情報系分野への進学希望が一定数存在しており、時代のニーズを反映した傾向が見られる。情報科目の必修化との直接的な関連は明確ではないものの、継続的な関心領域として位置付けられている。</p> <p>進路指導に関しては、1年次より計画的に進路学習を実施し、オープンキャンパスへの参加を課題として設定するなど、早期からの意識形成に取り組んでいる。</p> <p>(4)令和7年度取組状況 ①教育課程・学習指導 今年度は時間割編成方法の見直しを行い、再履修の可能性をあらかじめ考慮した設計とすることで、履修の見通しを明確化した。</p> <p>②生徒指導・支援 生活習慣の定着を図る指導を実施し、教育相談体制の充実を進めた。</p> <p>③活動支援 部活動継続の課題と行事運営の再構築が必要である。</p> <p>④外国人生徒支援 保護者説明会や交流活動を通じた支援の充実を図った。</p> <p>⑤進路指導・支援 外部連携を活用したキャリア教育を推進した。</p> <p>⑥地域との協働 授業改善および地域活動の再開により連携を強化した。</p> <p>⑦学校運営・業務改善 勤務状況の可視化を進め、業務改善に取り組んだ。</p> <p>(5)質疑・意見交換 コミュニケーション能力の重要性が指摘され、教育の方向性が共有された。</p> <p>(6)閉会挨拶 教育活動の成果と課題が共有され、今後の改善に向けた方向性が示された。</p> |